

図書室だより



開成町図書室 ▶ ☎20-4742
 開室時間 ▶ 火～金曜日：10時～20時30分 / 土・日曜日：10時～17時
 休室日 ▶ 毎週月曜日
 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、開室時間を変更することがあります。
 ※貸出冊数は一人4冊までです。貸し出し期限は2週間です。

親子で楽しむ

おすすめ絵本

町では、読書を通して家族のコミュニケーションを深めるため、毎月1日を「ファミリー読書デー」としています。図書室で借りられる、親子で楽しめる本を紹介します。



じしん・つなみ どうするの？

せべ まさゆき/絵、国崎 信江/監修、WILLこども知育研究所/編著

突然やってきた地震。そのとき命を守るにはどうすればいいでしょう。この絵本は地震や津波、火山の噴火に備える方法がわかりやすく解説されています。

絵本で防災を知ろう！

自然災害はいつ起こるかわかりません。もしもの時、子どもも自分で自分を守ることが大切です。「地震が起きた時、1人だったらどうする？ひなん場所はどこかな？」など、お子さんに問いかけてください。絵本を通して親子と一緒に防災について学びましょう。



こぬま いくこ
 図書室スタッフ 小沼 郁子

NEW

新着本

新しく購入した図書の一部を紹介します。図書室にない本は、リクエストできます。お気軽にご相談ください。

一般書

海神の子 川越 宗一	食卓で読む一句、二句。 夏井 いつき	彼岸花が咲く島 李 琴峰

児童書

世界でいちばん優しいロボット 藤田 正勝	はじめての哲学 藤田 正勝	ガラスの犬 フランク・ポーム

親子でレシピ

日本では、旧暦の8月15日の夜(現在の9月中旬～10月上旬)を「十五夜」と呼び、だんごやススキなどをお供えして、お月見をする風習があります。今年の十五夜はだんごを作り、家族で月を見上げ、うさぎを探してみたいかがでしょうか？

お月見だんご



材料 (4人分)

- 白玉粉…200g
- 絹豆腐…250g
- ★みたらしのたれ
- しょうゆ…大さじ2
- 砂糖…大さじ2
- 水…100ml
- 片栗粉…大さじ1

作り方

- 1 白玉粉をボウルにあげ、絹豆腐を少しずつ混ぜ合わせながら加えていく。
- 2 丸く形成し、沸騰したお湯で2分ゆでる。
- 3 2を、水を張ったボウルにさっとくぐらせ、水気を切る。
- 4 小鍋に★みたらしのたれの片栗粉以外の材料を入れる。沸騰後、火を止めてから片栗粉を入れ、とろみをつける。
- 5 3を器に盛り、みたらしのたれをかける。

子育てナビ

焦らず楽しく、離乳食を進めましょう♪

問 子育て健康課 ☎84-0327

7・8か月頃になると…

少しずつ形や固さのある食べ物に慣れて、食事を食べられるようになるプロセスのことです。赤ちゃんには、それぞれ個性や個人差があります。一人ひとりの成長や発達に合わせて進めましょう。

「食べてくれるかしらっ」と心配ですか？大丈夫です！少しずつ食べられるようになりまます。まずは、楽しい雰囲気です。食べる楽しさを体験させてあげましょう。

そろそろ離乳食を…
 と思っているママ・パパへ

離乳食を始める目安

5～6か月頃に、次の様子が見られたら離乳食を始めましょう！

- 首が座っている。
- 食べ物に興味を示す。(よだれが増える、食べ物を目で追う。)
- スプーンなどを口に入れても、舌で押し出すことが少なくなる。
- 授乳間隔が3～4時間空いてくる。

上手いかわなくても、焦らなくて大丈夫です。離乳食初期は、「栄養を摂る」より、「食事に慣れる」期間です。1～2口しか食べなくても、無理して食べさせずに、食事を終わりにしてしまってもOK！食事の時間は、お子さんとママ・パパにとって、楽しいものにしましょう。



あいちい

離乳食のお悩み、お聞きします！

お電話や面談での相談を随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。また、離乳食教室を開催しています。詳しくは町HPをご覧ください。



▲7月に開催した離乳食教室

元気だより

問 文命中学校 ☎83-1386



▲遠足後、生徒が作成した鎌倉新聞



▲みんなでお参り

鎌倉はいつか…
 文命中学校総括教諭 岸谷 郁美

新型コロナウイルスの猛威が連日報道され、何をすることも、かげりを感じ、晴れてるのに曇り空を想像してしまふような昨今です。

そのような中、2年生は恒例の鎌倉遠足に行ってきました。梅雨の真只中、心配していた天気は、思いが届いてまさかの晴天！

私たちの不安をよそに、普段と全く変わらぬ佇まいで迎えてくれた、鶴岡八幡宮、銭洗弁財天、高德院、明月院…大仏様の静かなまなざし、あじさいの可憐さなどから、勇気と癒やしをもらえた一日でした。

復路の電車の中で、今日刻まれた新たな思い出を状況を理解し、小声でひそひそと話している生徒の姿に、成長を感じると共に、楽しく笑い合える日が早く戻ることを心より願った帰途でした。

「元気だより」では、町の子どもの様子を学校・保育園等の現場からお届けします。